

（１）大阪大学形成外科研修プログラムについて

形成外科は臨床医学の一端を担うものとして、先天性あるいは後天性に生じた変形や機能障害に対して外科的手技を駆使することにより、形態および機能を回復させ患者の Quality of Life の向上に貢献する外科系専門分野です。大阪大学形成外科研修プログラムは、国民の健康・福祉の増進に貢献できるよう、形成外科領域における知識と技能、社会性、倫理性など医師として適性を備えた専門医を育成することを目的としています。

本プログラムでは、募集定員は 10 名を予定しております。形成外科専門研修期間は、初期臨床研修の 2 年間の後、4 年以上とされています。

本プログラムでは基幹施設と連携施設の病院群で指導医のもとに研修が行なわれます。専門研修プログラムでは外傷、先天異常、腫瘍、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、難治性潰瘍、炎症・変性疾患、美容外科などについて研修することができます。

研修の一部には、一定の条件はありますが、社会人大学院を組み入れることもできます。また、Subspecialty 領域専門医（皮膚腫瘍外科、創傷外科、頭蓋顎顔面外科、熱傷、手外科、美容外科）の研修準備をすることもできるよう配慮しています。更に、専門研修プログラムでは医師としての幅が広げられるよう、臨床現場から見つけ出した題材の研究手法、論理的な考察、統計学的な評価、論文にまとめ発表する能力の育成を行います。専門研修プログラム終了後には専門知識と診療技術を習得し、他の診療科とのチーム医療を実践できる能力を備えるとともに社会性と高い倫理性を持った形成外科専門医となります。

（２）形成外科専門研修はどのように行われるのか

研修段階の定義

形成外科専門医は、初期臨床研修の 2 年間と専門研修（後期研修）の 4 年間の合計 6 年間の研修で育成されます。

- ・ 専門研修の 4 年間で、医師として倫理的・社会的に基本的な診療能力を身につけると、日本形成外科学会が定める「形成外科専門研修カリキュラム」にもとづいて形成外科専門医に求められる専門技能の修得目標を設定します。それぞれの年度の終わりに達成度を評価したのち、専門医として独立し医療を実践できるまでに実力をつけていくように配慮します。
- ・ 専門研修期間中に大学院へ進むことは可能です。社会人大学院生として、臨床に従事しながら研究を進めるのであれば、その期間は専門研修として扱われます。
- ・ 専門研修プログラムの終了判定には、経験症例数がが必要です。日本形成外科学会専門医制度が定める研修カリキュラムに示されている研修目標および経験すべき症例数を参照してください。（次頁の表を参照）



形成外科領域専門研修における必要経験症例一覧

(経験症例数)		(経験執刀数)	
I 外傷	60	10	上肢・下肢の外傷、外傷後の組織欠損(2次再建)、顔面骨折、顔面軟部組織損傷、頭部・頸部・体幹の外傷、熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷、など
II 先天異常	15	4	頸部の先天異常、四肢の先天異常、唇裂・口蓋裂、体幹(その他)の先天異常、頭蓋・顎・顔面の先天異常、など
III 腫瘍	90	18	悪性腫瘍、腫瘍の続発症、腫瘍切除後の組織欠損(一次・二次再建)、良性腫瘍、など
IV 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	15	3	肥厚性瘢痕・ケロイド、瘢痕拘縮
V 難治性潰瘍	25	3	褥瘡、その他の潰瘍(下腿・足潰瘍を含む)、など
VI 炎症・変性疾患			顔面神経麻痺、手足の炎症・変性疾患、
VII その他			その他(眼瞼下垂、腋臭症、など)
VI VII合わせて	15	2	
VIII 美容外科			手術、処置(非手術、レーザーを含む)
指定症例の総計	220	40	
自由選択枠	80	40	
総合計症例数	300	80	

(3) 研修プログラムの施設群について

(基幹施設) 大阪大学形成外科が専門研修基幹施設となります。(研修プログラム責任者：1名、指導医7名、症例数：約900例(按分後))

(連携施設) 大阪大学形成外科研修プログラムの施設群を構成する連携病院は以下の通りです。これらの病院は地域の中核を成す病院でもあり、ここでは地域医療も経験していただきます。なお、大阪大学グループ全体の症例数は、年間9,000例以上(按分後)にのぼり、腫瘍・再建、先天異常、外傷などあらゆる分野において豊富な手術経験をできるようになっております。

(専門研修施設群の地理的範囲) 大阪大学形成外科研修プログラムの専門研修施設群は大阪府・兵庫県・福井県・新潟県・にあります。また施設群の中には、地域中核病院や地域中小病院も含まれます。



大阪大学グループ

専門研修基幹施設

・大阪大学医学部附属病院 (指導医7名)

専門研修連携施設かつ地域医療研修の可能な施設

・大阪けいさつ病院 (指導医3名:専攻医枠5名)
 ・大阪ろうさい病院 (指導医3名:専攻医枠3名)
 ・大阪急性期・総合医療センター (指導医1名:専攻医枠4名)
 ・関西ろうさい病院 (指導医2名:専攻医枠3名)
 ・JCHO大阪病院 (指導医1名:専攻医枠2名)
 ・大阪みなと中央病院 (指導医2名:専攻医枠2名)
 ・住友病院 (指導医2名:専攻医枠2名)
 ・箕面市立病院 (指導医1名:専攻医枠3名)
 ・市立堺総合医療センター (指導医2名:専攻医枠3名)
 ・国立病院機構大阪医療センター (指導医1名:専攻医枠2名)
 ・りんくう総合医療センター (指導医1名:専攻医枠3名)
 ・ベルランド総合病院 (指導医1名:専攻医枠2名)
 ・市立東大阪医療センター (指導医1名:専攻医枠2名)
 ・市立伊丹病院 (指導医1名:専攻医枠2名)
 ・市立豊中病院 (指導医1名:専攻医枠1名)
 ・関西メディカル病院 (指導医1名:専攻医枠1名)
 ・高井病院 (指導医1名:専攻医枠1名)

専門研修連携施設

・大阪国際がんセンター (指導医1名:専攻医枠4名)
 ・大阪母子医療センター (指導医1名:専攻医枠2名)
 ・兵庫県立こども病院 (指導医2名:専攻医枠3名)
 ・近畿大学病院 (指導医2名)
 ・新潟大学医歯学総合病院 (指導医4名)
 ・福井大学医学部附属病院 (指導医2名)



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 形成外科

担当者 久保 盾貴

✉ psurg@psurg.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/psurg/>

